

科目名	看護過程	時期	時間	単位	
担当教員	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員	1年次	後期	30時間	1単位
科目設定理由	看護は、人間の健康に焦点をあて、あらゆる成長・発達段階にある個人、家族、集団、地域・社会の中で生活している人を対象とし、その人がもつ自らの力を最大限に発揮し、最期までその人らしく生きることを支援する。そのため、科学的な看護の理論的知識体系について理解し、看護における問題解決技法を修得するため当該科目を設定した。				
学習目標	看護過程の構成要素と展開方法の実際がわかる				
授 業 計 画					
回数	項目	内容		備考	
1	看護過程とは	1 看護過程の歴史的な概念 2 看護過程の必要性 3 問題解決技法と看護過程 4 看護過程の特性 5 看護過程の5つの構成要素		講義	
2	看護過程を展開する際に基盤となる考え方	1 問題解決過程 2 クリティカルシンキング 3 倫理的配慮と価値判断 4 リフレクション		講義	
3	看護過程の展開	1 看護アセスメントの意義 2 情報収集の方法 3 ゴードンの11の機能的健康パターンの枠組み		講義	
4		1 情報の解釈・分析（アセスメント） 2 事例を用いた看護過程の展開		講義・演習	
5～6		1 情報解釈・分析（アセスメント）の検討・発表		講義・演習	
7～8		1 全体像把握の意義 2 事例を用いた看護過程の展開		講義・演習	
9～10		1 看護問題の見きわめ 2 看護問題と看護診断 3 看護問題の種類 4 看護問題（看護診断）の表記方法 5 看護問題の優先順位の決め方 6 事例を用いた看護過程の展開		講義・演習	
11		1 看護計画の立案 (1) 期待される成果（看護目標）の設定 (2) 看護介入計画の分類と表記 2 事例を用いた看護過程の展開		講義・演習	
12～13		1 看護計画の立案（グループワーク）検討・発表		講義	
14		1 看護計画の実施 2 評価の方法		講義・演習	
15		試験	まとめ		
使用テキスト		系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術 I		有田 清子 他	医学書院
		看護がみえるvol. 4 看護過程の展開		医療情報科学研究所	メディックメディア
参考図書・資料等		ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践 看護アセスメント 同一事例による比較		渡邊 トシ子	ヌーベルヒロカワ
		ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断		江川 隆子	ヌーベルヒロカワ
評価方法		筆記試験、演習への取り組み、課題レポートなどから総合的に評価する			